

新理事長に國分氏

JSRAが通常総会

協同組合日本タイヤリサイクル協会（JSRA）は5月15日、電子会議の形式で「第28回通常総会」を開催した。

役員改選では、2期4年理事長職を務めた伊藤嘉靖氏（株イトウ）が退任し、後任の理事長に國分克尚氏（株国分商会）が就いた。副理事長は鳥海重利氏（株トリウミ）が重任、吉本恭宣氏（株ヒカリワールド）が新任。総会では、2019年度事業報告と収支決算報告、2020年度事業計

画案と収支予算案について審議し、いずれの議案も承認した。

新理事長に着任した國分氏は「現在のJSRAが置かれている環境は廃タイヤ利用先の問題や、新型コロナウイルス感染症拡大による世界景気の悪化等、非常に厳しい環境だと認識している。まずはJSRAの会員がこの困難期を乗り越えなければならぬ」と所信を表明。スタートした新年度を「JSRAの理念の下、目標に向けV字回復できるように準備する年度初めにしたい」と位置付けている。